

第16回岐阜県作業療法学会

記録集

伝えたい

～易しく、深く、面白く



日本一アツイ街、多治見から
アツイ情報を伝えたい



会期:平成24年5月20日(日)

会場:セラミックパークMINO

主催:(社)岐阜県作業療法士会

後援:岐阜県

多治見市

(社)岐阜県理学療法士会

岐阜県言語聴覚士会

(学会長挨拶) 伝えたい学会を終えて



第16回岐阜県作業療法学会 学会長 西尾昌美

去る平成24年5月20日(日)に多治見市セラミックパーク MINO にて、第16回岐阜県作業療法学会を開催しました。138名の参加をいただき無事に終えることができました。

学会のテーマは「伝えたい」でした。まず、日々の臨床から得られた成果や研究を伝える演題発表では、予定していた演題数を超える15題もの発表がありました。そして、今回の技術講座では、県内の先輩 OT から後輩へ伝えることを大切に考えて企画をしました。企画を進めていく中で、講師の方が「岐阜県の OT の資質を高めたい、若い県士会員を育てたい」との心強い願いを持って見えることに、本当に頭の下がる思いでした。講座の中ではテーマにあるように、ディスカッションで伝え合うこともできて、良い機会になったとの感想も聞かれました。今後もこのような講座で県士会員がお互いに育ち合いができていくことを願っています。

市民公開講座では、富山型デイサービスで理事長を務めてみえる、阪井由佳子先生をお招きすることができました。ご自身のお話から始まりユーモアたっぷりで、聴講者の中にはいつ本題に入るのかと思われた方もいたかもしれません。住み慣れた地域の中で、一人一人の人生を尊重して、その人らしく最期まで生きることを見守り支えることを、深く深く伝えていただきました。

阪井先生からは、講演終了後に「岐阜のOT学会はあったかいね」との言葉をかけてもらいました。柴会長からも学会を成功させるにはお互いの心遣いが大切との声をかけていただき、阪井先生の「あったかいね」の言葉がより心に響きました。学会を企画運営するにあたり技術講座の先生方にはご多忙にもかかわらず、快く承諾していただきました。また、実行委員の方には当日の打ち合わせにもかかわらず、協力しながらスムーズに運営していただき、順調に進めることができました。さらには東濃地区以外の会員のかたにもご協力いただきました。東濃地区で学会を開催するにあたり、企画運営委員の方には、不慣れな学会長を細部にわたり、支えていただきました。

今回の学会にご協力いただきました多くの方々に、温かい雰囲気の中で伝え合いながら学会を開催することができましたことを、深く感謝申し上げます。お礼の挨拶とさせていただきます。次期、飛騨地区の学会も多くの方に参加していただけると幸いです。



学会風景

受付風景



国際会議場ステージ



開会式



西尾 学会長



須貝 副会長



開会式風景

技術講座（発達）

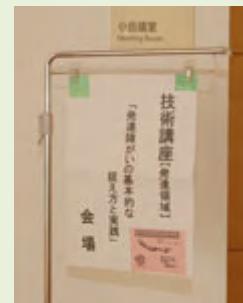
「発達障害の基本的な捉え方と実践」



加藤 講師



会場風景



会場入口看板

技術講座（身障）

「呼吸器疾患の臨床リレーズニングの実際」



寺本 講師



会場風景



技術講座（精神）

「地域支援と作業療法」



大下 講師



会場風景

技術講座（老年期）

「認知症の人とのコミュニケーションを考える」



鈴木 講師



会場風景

口述演題発表



発表風景(発達)



発表者(発達)



座長(精神)



発表風景(精神)



座長(老年期)



発表風景(老年期)



発表者(老年期)

書籍販売コーナー

昼食風景



市民公開講座

「親子じゃないけど家族です～富山型デイサービスの実践～」



阪井由佳子 講師



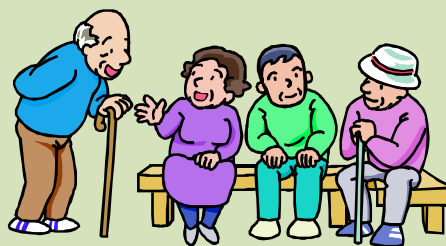
司会者(学会長)



会場風景



講師への贈り物贈呈風景



閉会式



学会長挨拶



次期学会長



運営スタッフ お疲れ様でした！



学会の概要

■開催日：2012年5月20日(日)

■場所：セラミックパーク MINO

■口述演題数：15 演題

■技術講座(講師は県士会員)

身障：「呼吸器疾患のクリニカルリーズニングの実際」 寺本佳津明氏

精神：「地域支援と作業療法」 大下伸子氏

老年期：「認知症の人とのコミュニケーションを考える」 鈴木奈緒子氏

発達：「発達障害の基本的な捉え方と実践」 加藤郁代氏

■市民公開講座

講師：阪井由佳子氏(デイケアハウスにぎやか)

テーマ：親子じゃないけど家族です～富山型デイサービスの実践～

■主催：(社)岐阜県作業療法士会

■後援：岐阜県、多治見市、(社)岐阜県理学療法士会、岐阜県言語聴覚士会

■参加者数(有料・無料あわせて計 名)

有料参加者：会員 128 名、県外作業療法士 8 名、養成校の学生 6 名

市民公開講座(無料参加者)：20 名 合計 162 名

■口述演題数(計 15 題)

身障領域 6 題、小児領域 4 題、精神・老年期領域 5 題

■決算報告

収入の部

摘要			単価	金額	備考
前回繰越金				416,102	(A)
参加費				411,000	(B)
内訳	事前入金済会員	100 名	3,000	300,000	弁当あり
	事前未入金会員	6 名	3,000	18,000	
	当日入金(県内会員)	22 名	3,000	66,000	弁当なし
	当日入金(県外会員)	8 名	3,000	24,000	弁当なし
	当日入金(学生)	6 名	500	3,000	
協賛金				15,000	(C)
雑収入				6,522	(D)
内訳	弁当売上	11 個	500	5,500	
	前回抄録売上(1部)			1,000	
	預金利息			22	
収入合計				848,624	(A)+(B)+(C)+(D)

支出の部

摘要		金額	備考	
運営費		479,461	(A)	
	会場費	172,418		
	内訳	会場借上費用	158,170	
		会場諸費	14,248	花台、ペン、テーブル他
	講師料	71,640		
	内訳	特別講演	23,000	
		特別講演講師交通費	18,640	
		技術講座	30,000	7,500円×4名
	広報費	1,703		
	抄録費	112,350		
	実行委員会(当日)	36,000		
	弁当代	79,900		
その他	5,450	講師土産代		
事務費		97,600	(B)	
	会議費	87,415		
	内訳	企画運営委員会会議費・交通費	83,760	
		会議雑費	3,655	
	通信費	5,740		
	事務備品	4,445	専用USB、プリンターインク他	
	その他	0		
支出合計		577,061	(A)+(B)	